

令和 4 年 度
事 業 計 画 書

社会福祉法人 銚子市社会福祉事業団

目 次

I	法人の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	社会福祉法人銚子市社会福祉事業団組織図・・・・・・・・	2
III	評議員会及び理事会等の開催計画・・・・・・・・	3
IV	事業団本部事務局の事業計画・・・・・・・・	4
V	各施設事業計画	
1	特別養護老人ホーム松籟の丘及び個室ユニット型特別養護 老人ホーム松籟の丘・・・・・・・・	5
2	ショートステイ松籟の丘・・・・・・・・	8
3	ケアマネージメントハウス松籟の丘・・・・・・・・	9
4	銚子市海鹿島保育所・・・・・・・・	10

I 法人の基本方針

社会福祉事業の主たる担い手として、地域社会における福祉の充実に貢献し、事業運営の適正かつ安定的、継続的な経営基盤の強化を図り、利用者及び市民に寄り添い、長期化する新型コロナウイルス感染症への対応と地域との連携をより一層深め、地域福祉の向上を図るため、次の各種事業を実施する。

1 第一種社会福祉事業

- (1) 特別養護老人ホーム松籟の丘及び個室ユニット型特別養護老人ホーム松籟の丘の経営

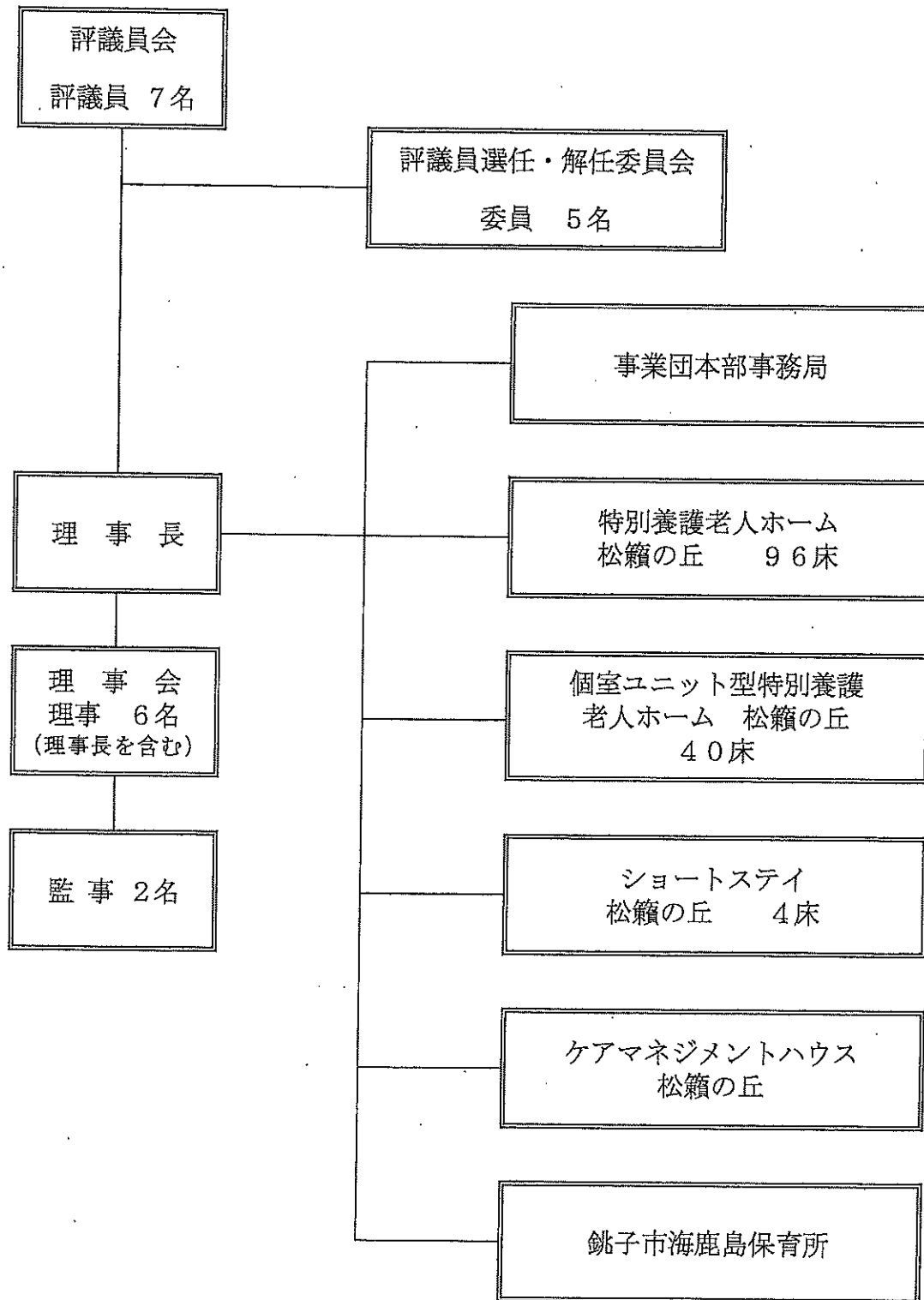
2 第二種社会福祉事業

- (1) 銚子市海鹿島保育所の指定管理事業による管理運営
- (2) 短期入所生活介護事業（ショートステイ松籟の丘等）の経営

3 公益事業

- (1) 居宅介護支援事業（ケアマネージメントハウス松籟の丘）の経営

II 社会福祉法人銚子市社会福祉事業団組織図



Ⅲ 評議員会及び理事会等の開催計画

評議員会	令和4年 6月	前年度事業報告 会計決算報告 その他
	令和5年 3月	次年度事業計画 会計予算関係 その他

理 事 会	令和4年 6月	前年度事業報告 会計決算報告 評議員会議案 他 理事長の職務の執行報告
	令和4年 9月	理事長の職務の執行報告 会計予算関係 その他
	令和4年12月	理事長の職務の執行報告 その他
	令和5年 3月	次年度事業計画 会計予算関係 評議員会議案 他 理事長の職務の執行報告

監事監査	令和4年 5月	会計決算関係
------	---------	--------

IV 事業団本部事務局の事業計画

1 健全な法人経営の推進

法人としての業務全般、予算、決算及び事業計画等に関して、定時評議員会のほか、随時理事会及び評議員会を開催・運営審議し、事業の活性化と健全な法人経営を図る。

2 今後の事業展開

指定管理事業として管理運営する銚子市海鹿島保育所が2022年度末をもって閉鎖となるため、今後、介護保険事業である特別養護老人ホーム等の経営のみとなる。事業規模が縮小となることから、今後の新たな事業展開が急務となる。地域包括ケアシステムの構築を念頭に置いて、10年後の法人の姿を想定し、その姿に向けて3年後、5年後に行うことを考え、どの程度実践できるか、それらを実現するための計画的な検討を進める。

また、特別養護老人ホーム松籟の丘の開設から10年目の節目の年となるので、新型コロナ禍の中で、事業団本部事務局として記念事業を推進する。

3 職員人事考課制度の推進

令和3年度から職員給与規程の見直しにより、職員人事考課制度を導入し、職員のスキル向上とモチベーションアップに努めてきたが、等級基準及び人事評価表の更なる見直しを図り、職員の処遇改善に努める。

4 職員の労働環境整備

職場環境の整備と人材を確保するためにも、「魅力ある職場、働き甲斐のある職場づくり」を法人全体として考え、職員の生活を守り、福祉を支える人材の育成、福利厚生・処遇改善の向上に努める。

また、引き続き、定期健康診断やインフルエンザ予防を通じて職員の健康管理を把握し、併せてストレスチェックを行うなど心の健康管理にも努める。

V 各施設の事業計画

1 特別養護老人ホーム松籟の丘及び個室ユニット型特別養護老人ホーム松籟の丘

(1) 基本方針

介護サービスは、令和3年度の介護報酬改定により、自立支援・重度化防止の取り組みを推進し、科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスの提供を行うために、専門職として今以上の知識とスキルが求められている。また、介護人材の確保は大きな課題であり、介護ロボット等ICTの活用を進め、業務効率化と業務負担の軽減を図り、介護現場の革新に対応して、来たる2025年に備えなければならないと考える。

新型コロナウイルス感染症に翻弄され、感染対策中心の事業展開が続いており、最悪の事態は免れてはいるものの、いつどのような障害が発生するか予断を許さない状況が続いている。そのような中、感染症や自然災害等のリスクに備え、必要なサービスを安定的且つ継続的に提供できるように対応力の強化を図る必要がある。

また、施設も開設10年目を迎え、設備の劣化や老朽化による支障が少しずつ出始めており、計画的に施設整備を進める必要が出てきている。利用者に気持ち良く暮らしていただけるように環境を整え、整理整頓と施設内外の美化を推進する。

「ここで暮らしてよかった そう思っただけの支援を目指します」という理念に基づいた質の高い個別ケアを提供できるように、職員個々のスキルアップを図り、チームワークを強化して、コロナ過で閉塞感が感じられる日々の中から利用者の生活の質の向上を目指し、利用者はもちろん優秀な人材にも選ばれる施設となって、松籟の丘としてのブランド化を目指し、次の重点目標を掲げ取り組みを進める。

(2) 重点目標

① 感染症や災害への対応力の強化

感染症や災害等様々な障害を想定し、必要なサービスを切れ目なく提供するための予防策や対応策を検討し、業務継続計画の作成に取り組む。また、災害への意識も高め、地域と連携した対応の強化に努める。

② 個別ケアの充実

専門職として根拠に基づいた質の高い個別ケアの提供に向けスキルアップを図り、チームワークを強化して自立支援と重度化防止に取り組み、施設全体で認知症の対応力向上と看取り介護の更なる充実を目指し、最期までその人らしい暮らしの継続を支援する。

③ 人材の確保と育成

安心して働きやすい職場として、また質の高いサービスを提供できる場所として、優秀な人材に選ばれる施設を目指し、個々に合わせて丁寧な指導を行い切磋琢磨しながら、心豊かで力量ある職員を育て、施設の中核となる人材育成を図る。

④ 経営の安定化

松籟の丘及び個室ユニット型松籟の丘共に98%の稼働率維持を目指し、入退所に伴う空床期間の削減と入院者の減少、各種加算算定の体制を強化し介護報酬の安定化に努める。

⑤ ICTの活用

介護ロボット等見守り機器の活用を推進し、業務効率化と業務負担の軽減に努め、また、団塊の世代の方々の利用も視野に入れ、自宅と同じ環境で暮らしが継続できるようにインターネット環境を整備する。

⑥ 施設整備

継続して浄化槽の整備と照明のLED化、駐車場の舗装整備やエアコンの更新を計画的に進め、施設の整理整頓と環境美化に努める。

⑦ 地域福祉の拠点としての活動

医療・福祉学生等の実習は、必要で貴重な体験であると認識し、可能な限り前向きに受け入れ、地域福祉の拠点として医療・福祉人材育成の寄与に努める。

(3) 年間計画

月	施設の行事	支援関係・その他
4	さくら祭り（お花見） 家族会	
5	つつじ見物	防災避難訓練
6	歯科検診	寝具交換
7	夏祭り	定期健康診断（レントゲン撮影）
8	ビアパーティー 縁日	施餓鬼供養
9	敬老祝賀会	定期健康診断（採血） 夜間防災訓練
10	さんま祭り	館内特別清掃
11	居酒屋	インフルエンザ予防接種 寝具交換
12	寿司パーティー	
1	新年祝賀会	
2	節分 焼きいも大会	防災避難訓練
3	もちつき大会	

2 ショートステイ松籟の丘

利用者が穏やかに在宅での生活を継続できるように、利用者・家族のニーズを把握し、他職種との連携を密にし、ケアプランに沿った対応に努め、利用者の心身の状態を細かく観察し、変化等への早期対応で重度化を防止し、予測を含んだ見守りを行うことで事故防止を図り、安心・安全に利用できるサービスの提供に努める。また、必要なサービスを切れ目なく継続的に提供できるように、感染対策の強化と徹底を図り、稼働率75%を目指す。

3 ケアマネージメントハウス松籟の丘

住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域包括ケアシステムの推進を担い、予防支援業務及び介護予防ケアマネジメント業務の継続、要介護認定訪問調査の受託など、特定事業所として質の高いケアマネジメントの実践を目指し進める。

また、新型コロナ禍において、今後の予測は難しいところであるが、居宅介護支援事業所の安定のみならず、事業実施区域の方々との交流を図り、業務継続計画（BCP）の策定を検討し、利用者及びその家族に寄り添ったケアプランの作成、地域包括ケアシステムの安定のため、地域包括支援センター、各サービス事業所、ボランティアや様々な社会資源等と連携して、個々の生活支援から地域支援へと広義の地域福祉を見据え、交流を深めながら、相談援助活動等の強化を図る。

4 銚子市海鹿島保育所

(1) 基本方針

子どもの最善の利益を考慮し、「子どもの未来が広がる保育」を目指す。今年度末をもって、海鹿島保育所の閉所が決定されているが、子どもの健康・安全対策に取り組み、子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障し、環境を通して養護と教育を一体的に行う。

(2) 重点目標

① 子どもの健康支援

情緒の安定した環境の下で、主体性をもった相互の関りを大切にする事で「頑張れる力とできる自信」を育てる。また、個々の子どもの発育状態を把握し、コロナ等の感染症への対応として健康チェック表を作成し健康状態を見守ることで、保育所全体の疾病の発生状況や感染症の早期発見に役立て、予防対策に努める。

② 事故防止及び安全対策

災害や事故の発生に備え、危険個所の点検や定期的な避難訓練の実施に加えて睡眠中、プール活動、食事中等の場面を想定した事故を防止するため、全職員の共通認識や体制を整備する。また、子どもの年齢の特性を理解した上で事故に繋がる問題を把握し安全対策に努める。

③ 食育の推進

食事は生命の維持、健全な心身の発達を図る上で大切なものである。旬の野菜を中心にバランスの良い安心・安全な給食を提供する。

また、野菜作りや収穫体験を通して食習慣、食の楽しさや大切さを身につけさせる。

④ 保育士の資質・専門性の向上

保育実践を通じて保育の課題を把握し、対応が適切に行われるよう研修を通して、職員の共通認識を高める。また、ウェブサイト等の外部研修で得た知識、技能を職員間で共有することで保育所全体の資質の向上に努める。

⑤ 子育て支援及び地域交流

子育て支援の拠点として交流の場を設け、相談や情報交換を行うなど、子育て支援の充実を図る。また、「思いやりの心」を養う良い機会になるため、保育所が様々な輪を広げることにより、地域社会の活性化を図る。また、今年度で保育所を閉所するとの市の決定に

関し、それぞれの子どもに寄り添った支援を行う。

⑥ 環境整備

建築物等諸設備は老朽化しているが施設維持管理に努めると同時に必要箇所を順次、補修整備を行う。

閉所に伴う、事務関係、施設設備等の整理が遅滞なく行える体制を整える。

(3) 年間計画

月	施設の行事	支援関係・その他
毎月 実施	英語であそぼう(月1回) 誕生会(月1回)	所庭開放・体操(週1回) 身長・体重計測(月1回) 避難訓練(月1～2回) 交通安全指導(月1回)
4月		
5月	さつま芋・野菜苗植え 春の遠足	保育総会 児童健康診断 胸囲・頭囲計測
6月	音楽指導・じゃがいも掘り 磯あそび	歯科健診
7月	七夕会・夏まつり 野菜の収穫	
8月	プール開き・お楽しみ会 プール遊び	
9月	伝承遊び・音楽指導 おにぎりクッキング	避難訓練保護者引き渡し
10月	さつま芋ほり・運動会 ハロウィンパーティ	
11月	おにぎりデー・バス遠足	児童健康診断
12月	生活発表会 クリスマス会	
1月	伝承遊び なかよしバイキング	地震・火災の映写会 マラソン
2月	節分豆まき おにぎりデー・じゃが芋種植え	マラソン
3月	ひな祭り会 お別れ所外保育・終了式	マラソン

*今年度で最後のため、閉所式を行う。